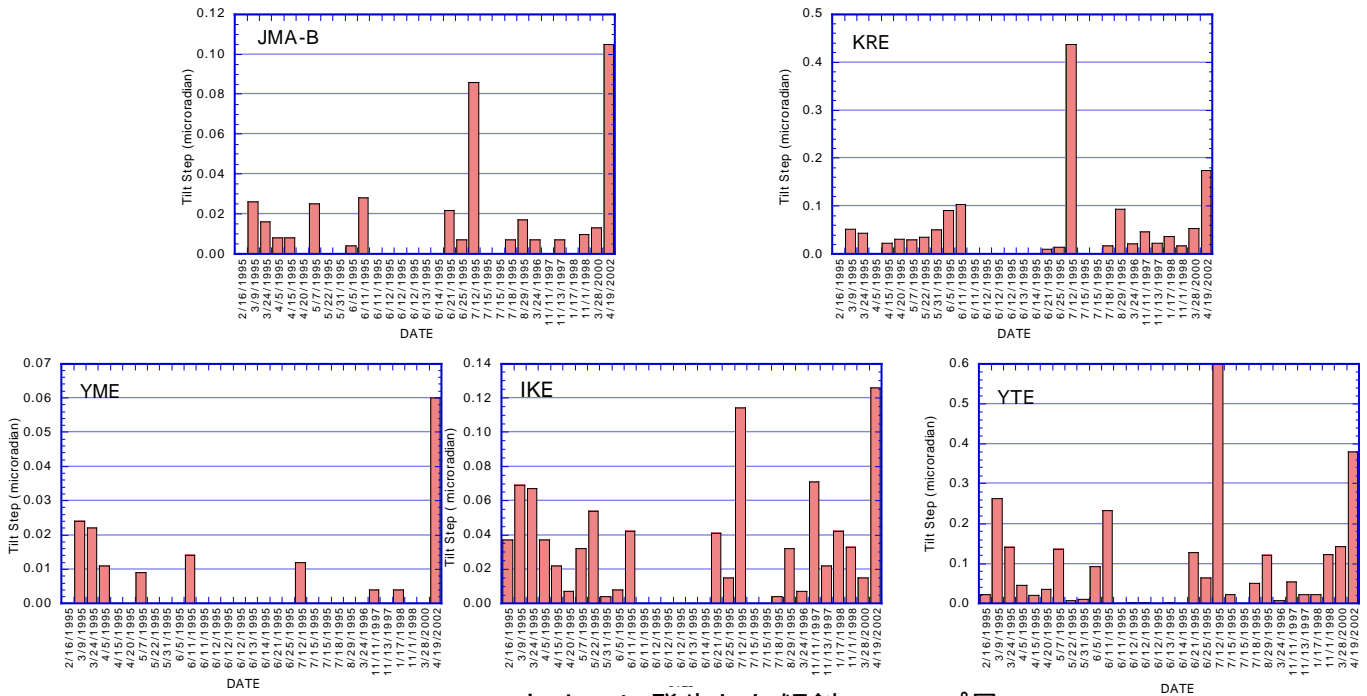
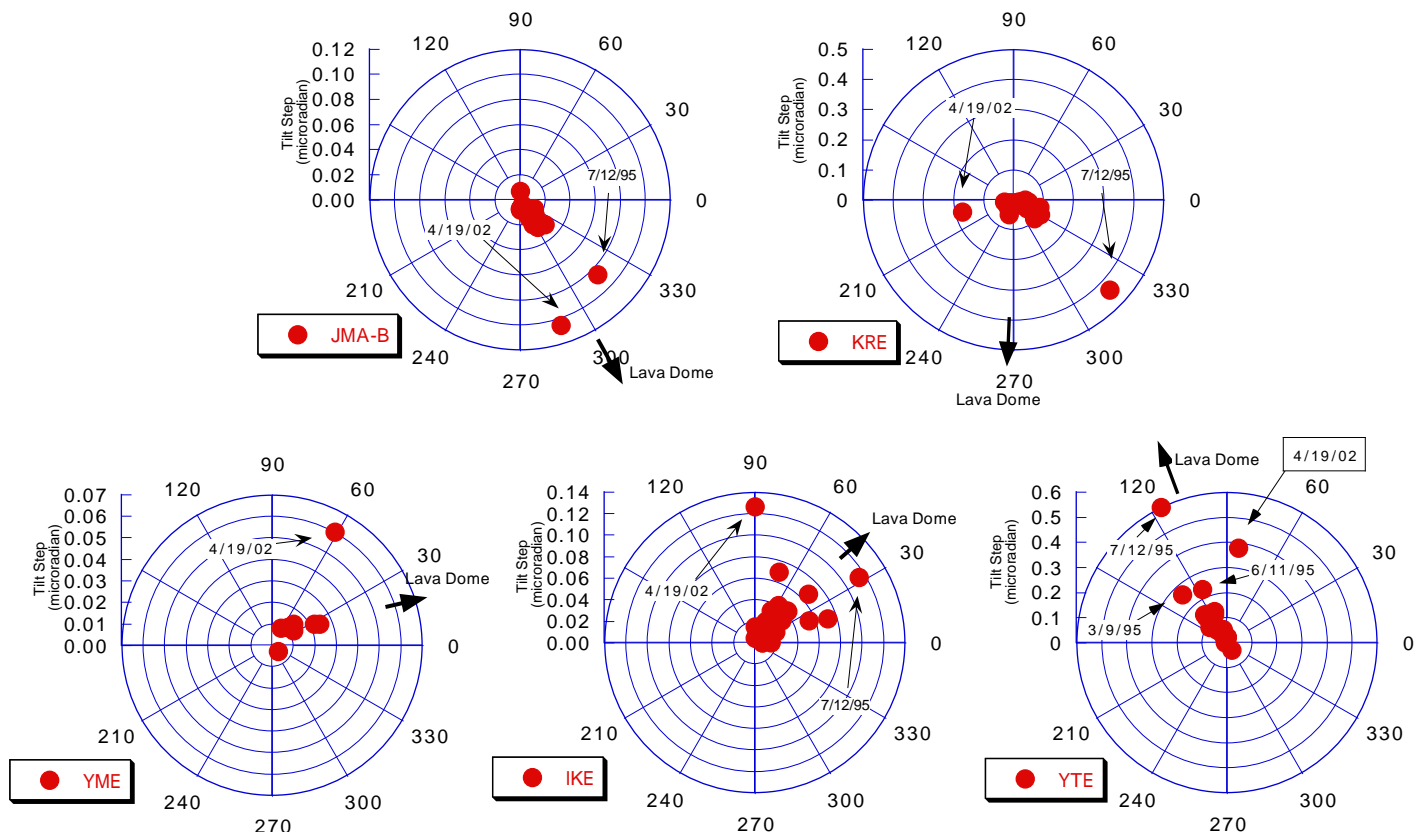


今回の火山性微動に伴う傾斜変動は、1995年7月12日の変動に匹敵する大きなものであった。発生域がこれまでのものより西側に移動しているため、雲仙岳西麓の観測点では、これまでで最大の変動を示した。

なお、YTE（山の寺）は、距離の割には傾斜変動量が異常に大きい。観測点が赤松谷断層沿いにあり、特異な観測点である可能性がある。



これまでに発生した傾斜ステップ量



隆起方向とステップ量の関係